

あいち 地域文化 創造戦略

～来て、見て、発見、わたしの愛知 誇れる文化～

はじめに

—来て、見て、発見、わたしの愛知 誇れる文化—

文化は人々の心と生活に潤いと豊かさをもたらすものであり、他者に共感する心を通じて、互いを尊重し、共に生きる資質を育む社会の基盤となるものです。

先の東日本大震災においても、被災地の方々にとって、地域の祭など、ふるさとの文化が人々の心の拠りどころとなり、復興に向けた心の支えとなりました。

私たちの生活や社会における文化の役割をあらためて考えさせられるとともに、その大切さ、文化の持つ力を実感いたしました。

愛知は、全国に誇れる数多くの優れた伝統芸能や伝統工芸品などの伝統文化が受け継がれているほか、三英傑を生み出した当地ならではの歴史文化、豊かな風土に育まれた個性的な食文化、そして、あいちトリエンナーレに代表される現代アートなど、文化力の源となる多種多様で魅力的な文化にあふれています。

わたしは、本県の誇るべきこの文化力を「愛知の顔」として世界に向けて発信し、愛知の魅力と存在感をさらに高めていくことが、世界と聞える愛知づくりにつながるものと考えております。

今日の社会では、文化の持つ創造性や発展性が、経済の発展に大きく関与しています。「あいち地域文化創造戦略」は、愛知の文化力をさらに向上させ、地域の魅力づくりと活性化につなげ、心豊かな地域社会を実現することを目的に策定いたしました。

この戦略に基づき、県民の皆様をはじめ、市町村、民間団体など関係の方々と手を携え、愛知の文化力がさらに高まり、文化の薫り高い愛知の魅力となって世界に向けて発信できるようしっかりと取り組んでいきたいと思っております。

県民の皆様におかれましても、わたしたちの町、愛知の文化の素晴らしさを見直し、身近な文化に誇りを持って、大切に育んでいただきますようお願いいたします。

平成24年3月

愛知県知事 大村秀章

1 戦略策定の背景と目的	1
① あいち地域文化創造戦略策定の背景	1
② あいち地域文化創造戦略策定の目的	3
2 現状と課題、求められる対応	4
① 戦略策定における愛知県の現状と課題	4
② 戦略のキーワード・求められる対応	5
3 戦略の性格・目標・実施期間	7
① 戦略の性格	
② 戦略が対象とする地域文化	
③ 戦略の目標	
④ 戦略実施期間	
4 基本戦略	7
5 目標達成のための県の事業展開	9
① あいち地域文化創造戦略の事業展開スキーム	9
② 戦略リーディング事業として実施・検討する取組	11
③ 戦略事業	12
参考 県内の魅力ある地域文化	14
あいち地域文化創造戦略プロジェクトチーム設置要綱	16

1 戦略策定の背景と目的

① あいち地域文化創造戦略策定の背景

文化の意義

～豊かな人間性を涵養～

文化は、人々に楽しさや感動、精神的なやすらぎや生きる喜びをもたらし、人生を豊かにするものであり、豊かな人間性を涵養する上で重要なものです。

社会の急激な変化が進む中、人が人らしく生きるため、そして、人々が心豊かに生きる社会を構築していくためには、一人ひとりが文化について考え、文化を大切にすることを心がけることが重要です。

※文化審議会答申「文化芸術の振興に関する基本的な方針」(平成23年1月31日)によると、文化芸術は、

- ①人間が人間らしく生きるための糧となるもの。
 - ②人間相互の理解を促進するなど共に生きる社会の基盤を形成するもの。
 - ③新たな需要や価値を生み出し、質の高い経済活動を実現するもの。
 - ④科学技術や情報化の進展した現代社会で、人間尊重の価値観に基づく人類の真の発展に貢献するもの。
 - ⑤文化の多様性を維持し世界平和の礎となるもの。
- とされています。

文化の持つ機能・役割

～人々の生活、社会の基盤～

今日、都市化や過疎化、少子化や高齢化が同時進行する中で、人々の疎外感や孤立感が高まり、連帯意識が希薄化するなど、人々の心のよりどころが失われようとしています。

先の東日本大震災では、生まれ育った“ふるさと”や地元の“祭り”など、子どもの頃から馴染んだ地域の文化が人々の心の拠りどころとなることや、人々との“絆”の大切さが見直されました。文化は、人と人々を結び付け、相互に理解し、尊重し合う土壌となり人々が生活する社会の基盤となります。

長い歴史、郷土の豊かな自然や言葉、昔から親しまれている祭りや伝統行事、歴史的な建物や町並み、地域に根ざした文化活動は、それ自体が独自の価値を持つだけでなく、住民の地域への誇りや愛着を深め、住民共通のよりどころになり、地域社会の連帯感を強めるものとなります。

文化の保存・継承と活用

～文化と経済～

今日では、ファッション文化や食文化など文化そのものが人々の経済活動を支える要因の一つとなり、地域経済に大きく関わっています。

愛知県内の各地域では、様々な伝統的な祭りや民俗芸能が受け継がれてきているとともに、現代的、個性的なイベントなどの文化活動が盛んに行われています。

本県が持つ豊かな文化は、長い歴史を通して、それぞれの地域の人々の生活の中で生み出され、現在まで守り伝えられてきた県民・地域の財産となっています。

このような文化資源を適切に保存し、次世代に正しく継承するとともに積極的な活用を図っていくことが必要となります。

こうした中、現在は、伝統的なものから現代のものまでの様々な文化資源を活用して地域の活性化を目指したまちづくりをしようとする動きが盛んとなっています。

文化による地域の魅力づくり

～「文化力」が地域の活力に～

住民自身が地域独特の風土の中で培われてきた文化資源の価値や潜在力を理解し、再評価し、育み、愛着と誇りを持つことにより、その地域の魅力をさらに引き上げることができます。

また、地域独特の文化の掘り起こしや磨き上げを行い、地域の文化力を向上させ、その魅力を地域の「顔」として、国内、さらには、世界に向けて積極的にプロモーションしていくことで、人と情報の活発な交流が生まれ、地域の活力や魅力向上につなげることができます。

② あいち地域文化創造戦略策定の目的

文化は、地域に暮らすわれわれの心や生活に、潤いと豊かさをもたらす力を持っています。

また、本県の誇るべき文化は、「愛知の顔」となり、国内、ひいては世界の中の存在感と魅力を引き上げるものとなります。

このため、愛知の文化力を向上させ、地域の魅力づくりと活性化につなげ、心豊かな地域社会を実現することを目的に、「あいち地域文化創造戦略」(以下「戦略」という。)を策定し、戦略に基づく取組を展開します。

そして、その成果が文化の薫り高い愛知の魅力となって世界に発信されることを目指します。

戦略のサブタイトル

～来て、見て、発見、わたしの愛知 誇れる文化～

人々に精神的豊かさをもたらし、地域に人を集め、活性化させる文化の力を、戦略により引き出し、存在感と魅力があふれ、多くの人が訪れる愛知県をイメージしてサブタイトルとしました。

あいち地域文化創造戦略の位置づけ

「あいち地域文化創造戦略」は、「文化芸術創造あいちづくり推進方針」(平成19年12月策定)の重点方向を強化・充実する取組と位置づけ、新しい発想の政策によって、集中的かつ優先的に行う具体的取組とします。

2 現状と課題、求められる対応

① 戦略策定における愛知県の現状と課題

モノづくり王国あいち

愛知県は、自動車産業をはじめとするモノづくりの高度で厚い技術集積により、世界的な産業中枢圏として発展し、世界に誇る産業力や経済力を持っていますが、一方で本県が有する文化資源の活用や新たな文化や価値の創造、効果的なプロモーションによる魅力イメージについては、必ずしも十分とはいえません。



この地域のもつ産業力や経済力、自然や歴史、文化などを活かしながら新たな価値を創造・発信していく力を高める必要があります。

古くから受け継がれた伝統文化

愛知県は、長い歴史と穏やかな風土のもと、古くから交通の要衝として、ヒト、物、情報の活発な交流の中で多様な文化が育まれ、「芸どころ」といわれるほど、全国的にも評価の高い伝統文化が継承されています。

また、本県の産業を支える「ものづくり」の原点となる工芸技術の面でも、優れた伝統工芸品が生み出され、今日に受け継がれています。

さらに、本県の豊かな自然環境は、美しく変化に富んだ優れた景観や豊かな食の素材をもたらし、伝統・文化・自然により育まれ、継承されてきた貴重な文化遺産や地域色豊かな食文化などが数多く残されています。

しかしながら、今日の中山間地域等における過疎化、少子化・高齢化の進行、産業構造の変化などによるコミュニティ意識の希薄化や地域の社会基盤の弱体化、さらに、経済のグローバル化や後継者の人材不足、生活様式や趣味嗜好の変化などによる工芸品産業の縮小などが原因となり、伝統文化は、喪失、消失の危機にさらされています。



このような変化に応じて、地域社会の理解、担い手の育成、新たな価値の創造など、伝統文化の支援基盤を再構築する必要があります。

新たな芸術・文化

豊かで優れた伝統文化の他に、今日の愛知県では、最先端の現代アートを紹介する国際芸術祭「あいちトリエンナーレ」や「コスプレサミット」、「アニメ、まんが」などのサブカルチャー（あるいはオタク文化）、「につぼんど真ん中まつり」などの地域発の新しい文化・芸術イベント、さらには「名古屋めし」、「ふるさとB級グルメ」、「戦国武将」などの新たな食文化や当地の魅力となる文化の取組が芽生えています。



このような新たな芸術・文化を地域に根付かせ、さらに発展させていく必要があります。

愛知の存在感と魅力の向上

グローバル化の進展する中で、愛知の存在感を高め、魅力の向上を図るためには、伝統文化から現代の文化まで、個性豊かで多様な愛知の地域ブランドを発信して、国内外から理解を深めてもらう必要があります。

このため、愛知の地域文化を、様々な媒体による情報発信や、国際イベント等での活発な文化交流を行うことが必要です。

また、観光振興とも連携し、当地ならではの魅力として、国内外への発信力を高めていくことが求められています。



積極的な情報発信や活発な文化交流を通じて、愛知の文化の存在感と魅力の向上につなげるとともに、観光振興とも連携した発信力向上の取組が必要となります。

② 戦略のキーワード・求められる対応

戦略策定における現状と課題を踏まえ、愛知の持つ強みである、

- 世界に誇る経済力
- 豊かな自然、歴史、伝統文化
- 新たな芸術・文化を生み出す土壌
- 個性豊かで多様な文化資源

を活かし、愛知独自の文化資源のさらなる掘り起こしと磨き上げ、情報発信と活発な交流を戦略的に実行することにより、目的の実現を目指します。実行にあたっては、

発掘

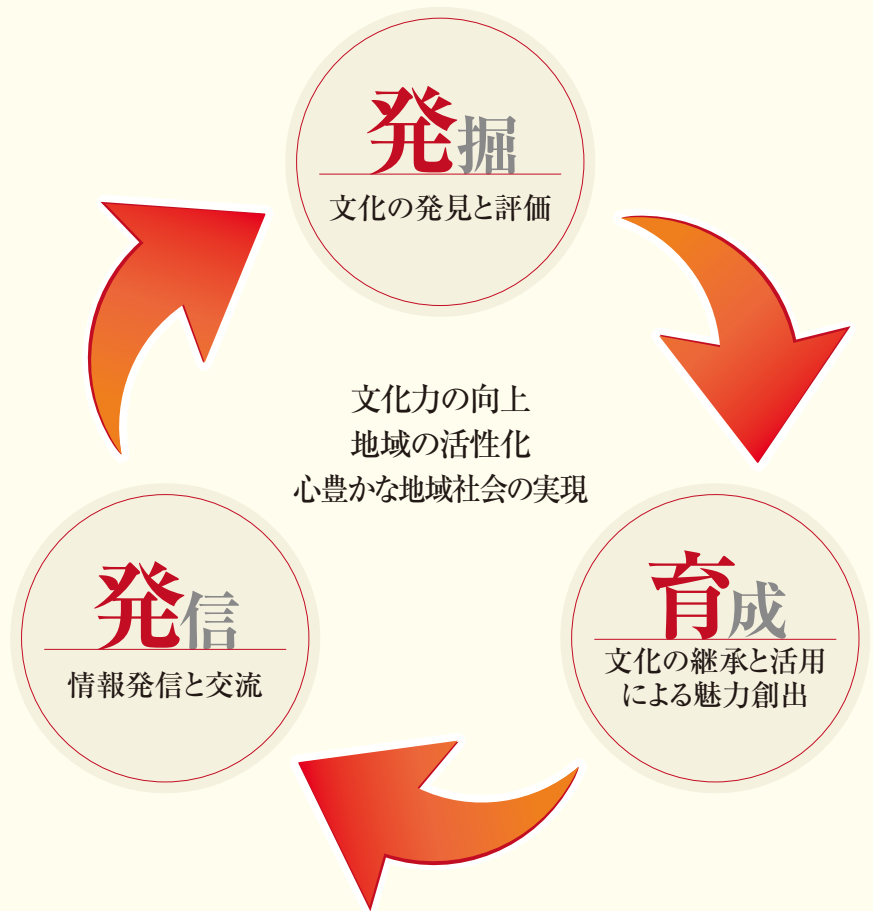
育成

発信

をキーワードとして掲げ、戦略を実行していきます。

キーワードと求められる対応

キーワード



求められる対応(例)

- ◎地域でひっそりと行われている祭りなどの価値を認めること（発掘）
- ◎地域の文化を広く紹介すること（発掘）
- ◎地域の伝統文化をたやすことなく次の世代に引継いでいくこと（育成）
- ◎地域の伝統文化を継承する人を育て、支援すること（育成）
- ◎地域の自慢できる文化、誇れる文化をブランド化させ、地域の活性化につなげること（育成）
- ◎欲しい人のもとに必要な文化情報を届けること（発信）
- ◎地域の文化資源の活用や売出し（プロモーション）を強化し、地域の魅力イメージを上げること（育成、発信）
- ◎新たな文化の発展を支援する一方で、特定の地域やファン層による支持や、一過性の人気とならないよう仕掛けをつくること（育成、発信）
- ◎県外からも人を呼び込むよう、魅力を高め、PRすること（育成、発信）

3 戦略の性格・目標・実施期間

① 戦略の性格

愛知の文化力を向上させ、地域の魅力づくりや活性化、心豊かな地域社会の実現を目指して、愛知の保有する地域独特の個性的文化の国内外に向けた発信力が高まるよう、市町村、NPO、関係団体などと連携しながら集中的・重点的に取り組む新たな方策（プロセス）を示すものとします。

② 戦略が対象とする地域文化

文化の範囲は非常に幅広く、その価値も一律に定められたものではなく、人それぞれが評価基準を持っています。
この戦略では、愛知の特色、愛知の個性、愛知らしさを発信するにふさわしい伝統行事や民俗芸能などの伝統的な文化や新たに生まれた個性的・現代的な文化など、愛知の保有する地域独特の個性的文化を対象とします。

③ 戦略の目標

地域独特の個性的文化を発掘、育成、発信するプロセスを実践することにより、県内各地域において、次世代に継承していくべき個性的な地域文化が発見され、県民の財産として保存・継承されるとともに、地域文化を活用した情報発信や地域間交流の進展による地域の魅力創出、地域の活性化が図られることを目指します。

④ 戦略実施期間

平成24年4月から平成27年3月の3ヵ年で段階的、集中的に実施します。

4 基本戦略

戦略の目標である「個性的な地域文化の発見、継承、地域の魅力創出・活性化」を目指し、戦略の実施期間である平成26年度までの期間において、3つの基本戦略を設定し、県民や地域、市町村やNPO、関係団体や関係業界などの参加のもと、連携・協働して展開していきます。

